

SIP-adus Workshop 2020

Society 5.0の実現に向けたSIP自動運転の取組

内閣府

政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付

古賀 康之



SIP-adus Workshop 2020

INDEX



1. Society5.0について

- ・Society5.0
- ・Society5.0による「交通」の新たな付加価値

2. 自動運転について

- ・自動運転開発のロードマップ
- ・自動運転実現に向けたアプローチ

3. SIP自動運転の取組について

- ・交通環境情報の構築と活用ロードマップ
- ・Society5.0実現に向けたデータ連携・活用

Society 5.0

新しい社会像 “Society 5.0”

データ連携

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（実空間）の高度な融合

経済成長

+

社会課題の解決

地域、年齢、性別、言語等による格やICTスキルによらず、必要なモノやサービスが必要な時に必要な人に提供

人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会

5.0

4.0

情報



狩猟

1.0



2.0



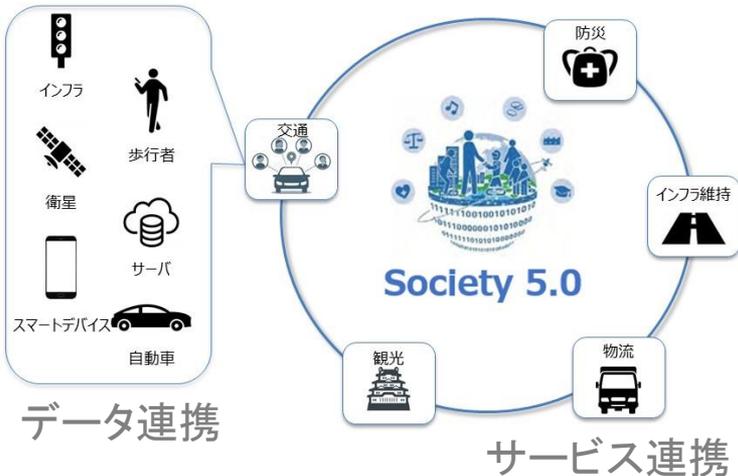
農業

3.0

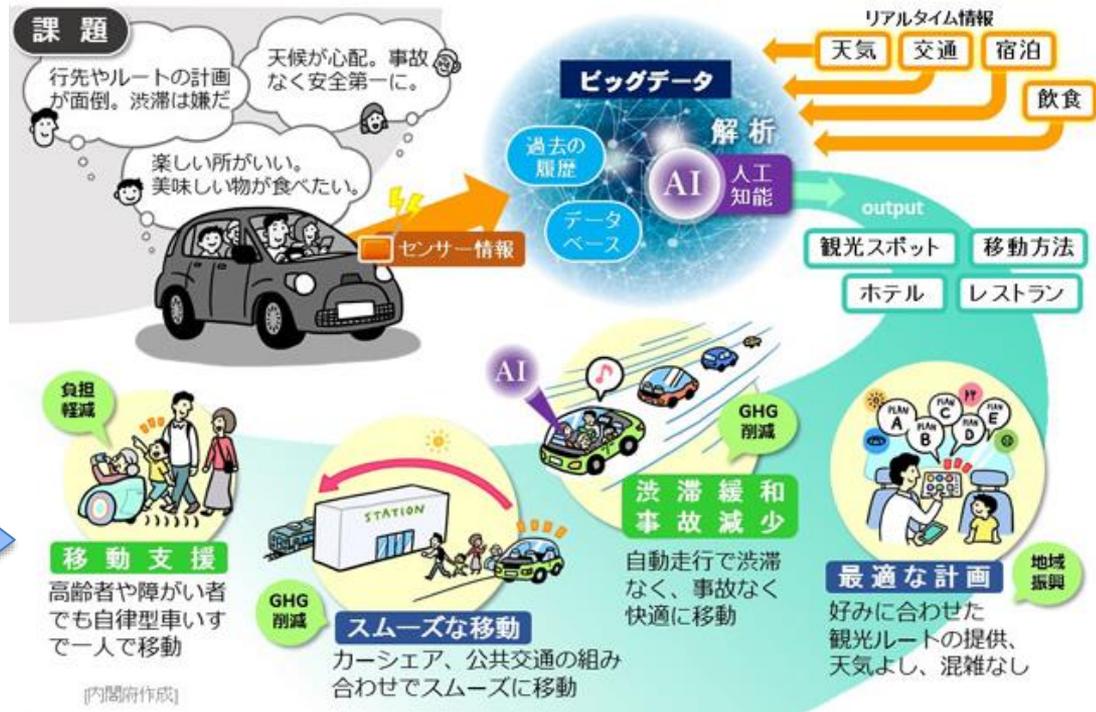


工業

Society 5.0による「交通」の新たな付加価値



事例:「交通」の新たな付加価値



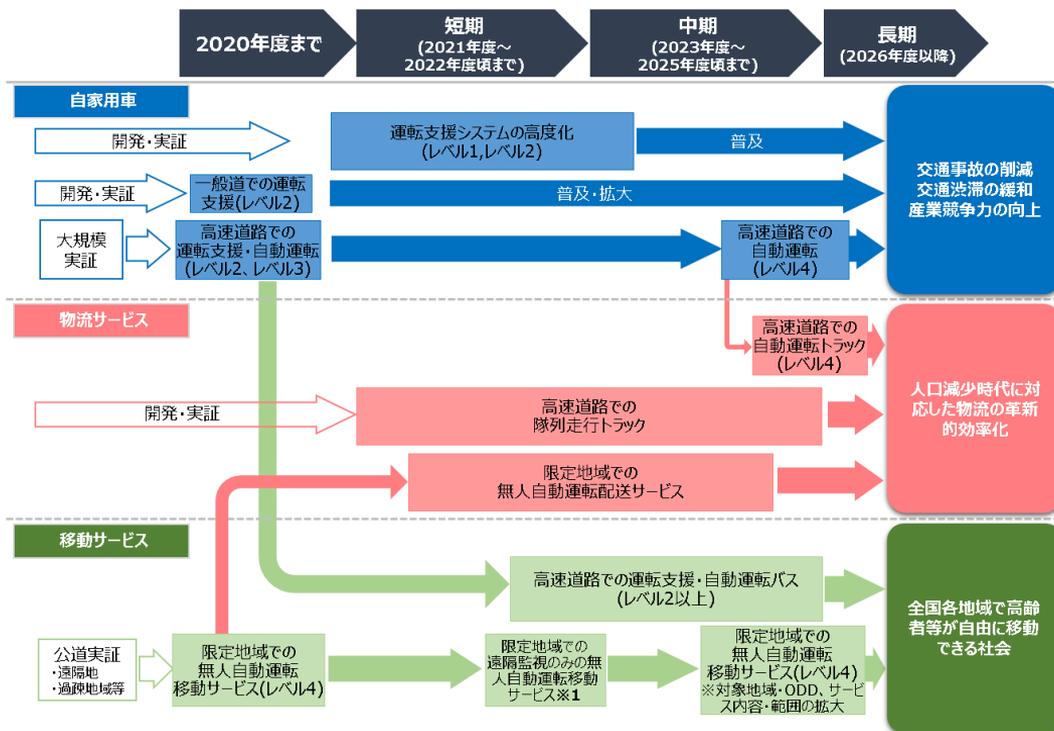
データ活用・データ連携による
課題解決・価値創造

(内閣府作成)

自動運転開発のロードマップ

官民ITS構想・ロードマップ2020

〈自動運転の市場化・サービス実現のシナリオ〉



・実現に必要な協調領域の技術を2023年までに確立

・様々な事業者・自治体等を巻き込んだ実証実験等で有効性を確認し、複数の実用化事例を創出



自動運転実現に向けたアプローチ

すべての国民が安全・安心に移動できる社会の実現

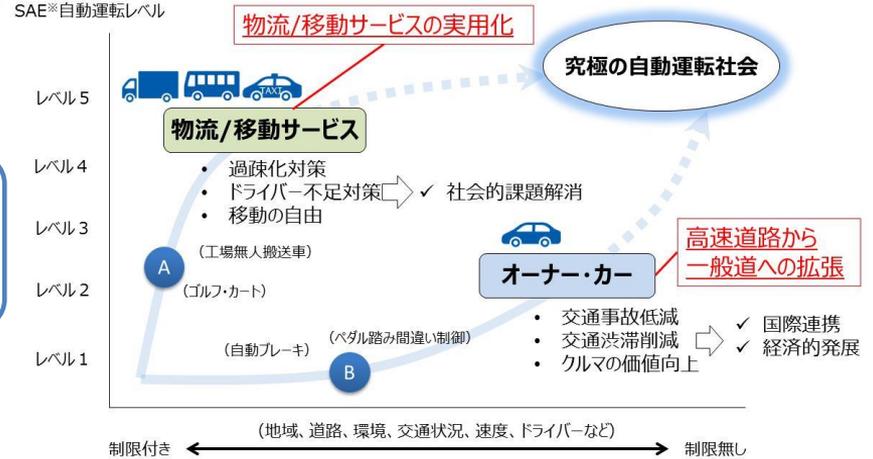
- 交通事故低減、交通渋滞の削減、
- 過疎地等での移手段の確保、
- 物流業界におけるドライバー不足等の社会的課題解決に貢献



競争領域 (車両、制御)



協調領域 (地図、インフラ)

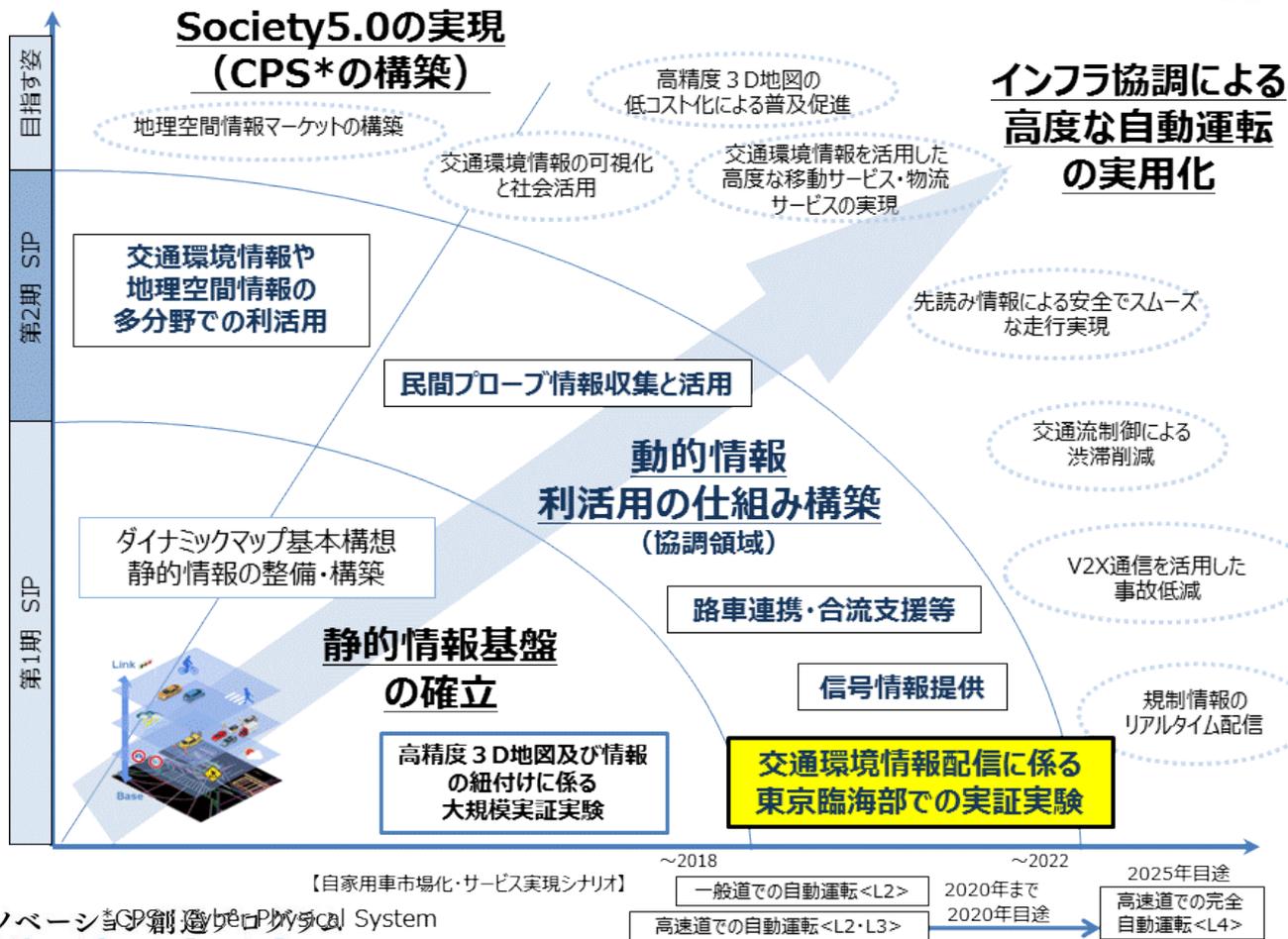


※SAE (Society of Automotive Engineers) : 米国の標準化団体

- 実証実験(東京臨海部等)
- 基盤技術開発
デジタルインフラの構築
データフォーマットの統一
安全性・情報セキュリティの確保 等
- 社会的受容性の醸成
- 国際連携・標準化



交通環境情報の構築と活用ロードマップ



Society5.0実現に向けたデータ連携・活用

地理系データに係るアーキテクチャ構築

① 交通環境情報ポータルサイトの構築・普及

・3次元高詳細地図データ



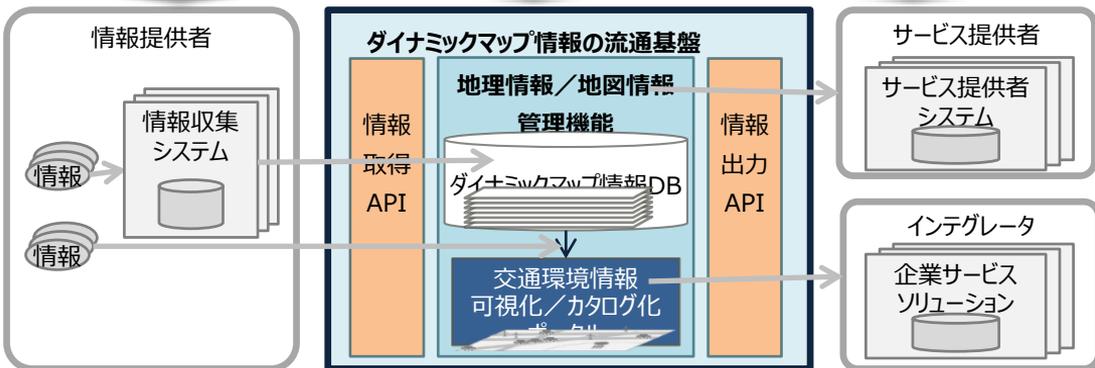
・信号灯色、合流支援
・渋滞・落下物データ



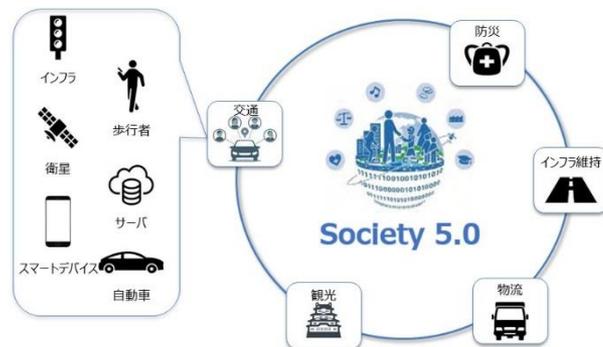
・公共交通機関運行データ
・施設、混雑データ
・防災・気象データ
・商用車両、物流関連データ等

② KYOTO 楽Mobiコンテスト

データ活用による京都の交通課題解決をテーマに情報サービスアプリコンテスト開催
⇒最優秀作品は事業として社会実装を検討



- ✓ ポータルサイトで情報提供者と情報利用者をマッチング
- ✓ オープン化されたAPIで情報流通を促進



**SIP-adus
Workshop
2020**

Thank you

